



# 始業式講話要旨

2019.4.8.Mon

みなさん、おはようございます。

挨拶で声を出すときは、お腹から、お腹に力を込めて声を出すように意識すると、よい声が出ます。また、心を落ち着かせる時にも腹式呼吸は有効です。腹式呼吸は、呼吸が深くなります。緊張する場面で、ゆっくりと呼吸を整えてみてください。

さて、新年度が始まりました。「為桜」の言葉の元になっている「発しては万朶の桜となる」の言葉通り、今が桜の満開の時期となりました。桜の花が開くときのように見事な姿になれるよう、我々自身も努力した結果を出せるよう、この一年間頑張りましょう。

そのために、今年度も「文武不岐」の精神を持って学校生活に励んで下さい。文武不岐とは、武道の教えにも通じているようです。学問を究めること、武道の厳しい修練を積むことは、どちらも人間としての資質を向上させるために切り離すことのできないものと捉えているようです。

みなさんに置き換えれば、学習したことや考えたことを実際に行動に移せるかどうか、というふうにも言えるのではないかと思います。考えと行動が一致することが大切です。

さらに話を進めますと「文武不岐」の基本は「文」です。高校生は学ぶ姿こそ本来の姿です。しっかりと学習に励んで下さい。その上で、学習し、考えたことを実践することが「武」です。「部活動で汗を流す」は素晴らしいことですが、それだけが「武」ではありません。「文」と「武」が高いレベルで実践できるよう望みます。

下妻一高の生徒のみなさんは、皆、能力の高い集団です。自信と誇りを持って一年を過ごしていきましょう。

